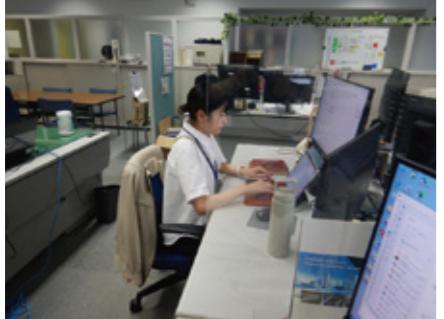


# 職員のしごと

技官

各分野が専門性を発揮し、互いに連携しながら業務に取り組んでいます。

## 計画



社会インフラ整備  
「土台」をつくる。

道路や橋、トンネルなどの社会インフラを計画する仕事をしています。管内の交通渋滞や産業物流、自然災害といった課題に対し、さまざまなデータを活用して調査・分析を行い、最適な道路計画を提案します。計画は市町村と連携して進められ、まちづくりの基礎となります。

京都国道事務所  
計画課係員

石原由貴

## エピソード

道路整備の「土台」となる計画立案に向けて、地域の交通量や渋滞・事故発生状況などの分析等を担当しました。関係機関との調整に苦労する場面もありましたが、大規模プロジェクトの第一歩に関わる貴重な経験となりました。**技術と地域をつなぐ橋渡し役として、課題を一つひとつ解決していく**。そのプロセスが、計画担当者の大きなやりがいを感じています。

## 身に付くスキル

## データ分析・評価力

交通量調査や事故データなどの基礎情報をもとに現状課題を定量的に把握し、俯瞰的に物事を見ることで説得力のある説明ができます。

## 調査・設計



全国的にも数少ない  
「まちなか」砂防事業。

六甲山の山裾に広がる市街地や鉄道、道路などのインフラを守るために、六甲山には砂防堰堤が整備されており、それらの新設や改築、維持管理を行います。地形等の測量や地質調査から始まり、施設規模や配置計画の検討、さらに工事のための設計図や詳細設計の検討まで行います。

六甲砂防事務所  
工務課 設計係長

川原崎智也

平成30年7月豪雨の土砂災害箇所における砂防堰堤の工事発注や地元調整を担当しました。地元説明会には多くの住民が参加し、工事の完了時期や効果など、さまざまな意見が寄せられ、みなさんが事業に大きな期待を寄せていることを実感しました。現在、その砂防堰堤が完成した姿をみて、**地域の安全・安心に貢献できたことを誇り**に思います。

## 身に付くスキル

## 応用力

自然の山を相手にする現場では、**学校で学んだ知識だけでは通用しません**。測量、地質調査など現場経験を重ねることで知識が実践に活かされます。

## 積算・発注



億単位の工事内容を積み上げ  
完成まで見届ける。

積算とは、設計成果をもとに工事に必要な費用を「積み上げて算出」することです。一見簡単そうに見えますが、使用する重機が現地で作業できるか等、現場をイメージすることが重要です。積算結果をもって、工事をお願いする建設会社を審査・選定し、契約することを発注といいます。

浪速国道事務所  
工務課 設計係長

川村達暉

発注担当は「契約したら終わり」ではなく、**その完成を見届ける責任**があります。自分が発注した橋梁工事では、工事途中で発生した様々な問題に対して、建設会社や設計を手がけた建設コンサルタント、地元、その他関係機関と連携して解決にあたりました。こうして発注した工事が現地で形になったのを目にすると「この仕事をよかったです」と感じます。

## 身に付くスキル

## 調整力

積極的に現場へ行き、現地状況を把握しながら関係機関やゼネコン、建設コンサルタント、地元の方々と関わることで、調整する力が育ちます。

## 施工・監督



地域との信頼関係を築きながら  
進めるダム工事。

ダム本体工事の施工計画から施工中・施工後の出来形管理までが監督業務です。施工者と小まめに協議し、情報共有しながら工事を進めています。また地権者との調整や、工事にともなう環境配慮、工事中・完成後の地域活性化施策検討など幅広くダムに関わる業務に携わっています。

足羽川ダム工事事務所  
建設監督官

余純司

ダムの本体工事はとてもダイナミックな印象を与えますが、コンクリートの扱いに関しては非常に繊細です。数種類のコンクリートを使い分けしており、それぞれ管理する規格値も異なり、夏場と冬場でも扱いが異なります。これらを管理・監督する中で、おのずと**コンクリートのスペシャリスト**に近づくことができます。

## 身に付くスキル

## 現場力

現場には図面には表記されていない情報が多く存在します。また**現場は常に変化する**ため、何度も足を運ぶことで、速やかで適切な判断が下せるようになります。

## 維持管理・運用



地域の安全と生活を支える  
大滝ダムの運用。

大滝ダムは「洪水調節」「水道・工業用水供給」「発電」などを目的とした多目的ダムです。洪水調節や水供給を適切に管理し、出水時には放流量増加とともに下流の安全確保のため、警報の発令や巡回を実施。また、ダム堤体や貯水池斜面の挙動を常時観測し、安全を確保しています。

紀の川ダム統合管理事務所  
防災情報課 水防企画係長

出水達也

ダム運用で重要なのが雨量予測。これを基に流入量を計算し、放流のタイミングや量を計画します。近年技術は向上していますが、降雨量やタイミングのズレが生じることも。その際は関係機関への連絡や警報などを迅速変更する必要があります。**不確実性**を考慮して余裕を持った計画を立て、的確に対応できた時には達成感を感じます。

## 身に付くスキル

## 考る力

どんなダムでも「操作規則」という運用する上でのルールブックがあります。決められたルールの中で**どのように運用していくか**を考える力ができます。

## 災害対応



被災地における早期復旧への  
技術的支援を行う。

自然災害が起きた時に、人々の命を守り、社会の機能をできるだけ早く回復させる仕事をしています。防災計画策定や訓練、備蓄品管理といった備えから、災害発生時の情報収集、ライフライン復旧や事業再開サポートなど、各省庁や自治体、警察・消防など多くの関係機関と連携し対応します。

近畿地方整備局  
災害対策マネジメント室  
計画係長

畠忠実

能登半島地震でTEC-FORCEの活動に従事した際、被害全容が全くわからない状況で、関係者から情報収集しながら、少しづつ被災状況調査を進めました。被災状況調査の成果は、災害復旧への基礎資料として活用されます。大変でしたが、**被災地の方に「来てくれてありがとう」と言われ、役に立ったことを光栄に思いました。**

## 身に付くスキル

## 危機管理力

東日本大震災の教訓にある**備えていたことがしか役にはたたなかった**。備えていただけでは十分ではなかった**」を肝に、日々災害に備える業務にあたります。**

# 職員のしごと

## 事務官

事業を進めていくうえで欠かせない事務手続きを担当しています。

### 経理・契約



適切な予算執行を  
チェックする。

道路や橋等の建設や、職員の日々の業務に必要な予算管理を行います。私たち公務員は国民の税金で仕事をしているので、何にいくら予算が使われているのか適切に管理する必要があります。そのために本局や事務所の担当者と連絡を取り合い、予算の動きを把握します。



#### エピソード

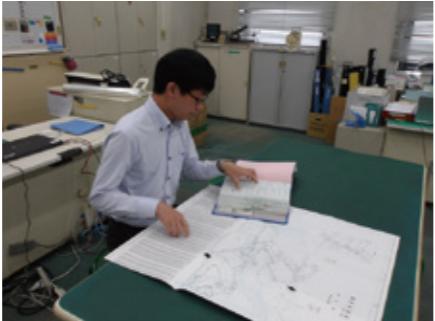
予算について相談を受けることが多く、最初は分からないことばかりで対応に苦慮しましたが、日々学んだことを活かしスムーズに対応できた時は自身の成長を感じて嬉しかったです。**大きな金額を扱うたびに国**の事業規模の大きさを感じですし、工事現場を見かけると、国の事業に携わっていることを実感し、身が引き締まります。

#### 身に付くスキル

##### 情報収集力

事務所内の予算の動きを把握するため、まわりの職員の**業務動向**に気を配って**積極的に情報収集**を行います。ミスを減らすため、早めの情報共有と密な連携に努めます。

### 用地・補償



地権者に寄り添い  
納得して土地提供してもらう。

道路を通す、堤防を築くなど、事業を実現するためにはまず土地が必要です。用地とは、必要な土地を地権者から買い受ける仕事。事業用地の面積、価値などを調査・確定し、地権者と土地売買契約を締結します。建物等がある場合は、移転費用を算出し、協議を重ね必要な補償を行います。



#### エピソード

どれだけ重要な事業であっても、地権者にとって土地を売るという決断は人生の一大事、すぐには買収に応じていただけないことがあります。そういった地権者と何度も面会し、ちらの考え方を理解していただけたときに一番やりがいを感じます。買収した土地は工事担当に引き継ぎますが、**完成した構造物を見たときの達成感は格別**です。

#### 身に付くスキル

##### 理解力

相手が何を求めるのか、**どういった不安や疑問を抱えているのか**を汲み取り、対応策を検討し、相手にわかりやすく説明する力が必然的に磨かれます。

### 管理事務(道路)



道路の適正利用を審査し  
安全性を確保する。

道路を安全に利用できるよう、維持管理をしています。道路法に基づいて、新しい道路を「道路」として利用可能にする手続き(道路区域決定・供用開始)や、道路本来の目的以外に使用される場合(歩道上空に看板を設置する等)の道路占用申請の審査等を行います。



#### エピソード

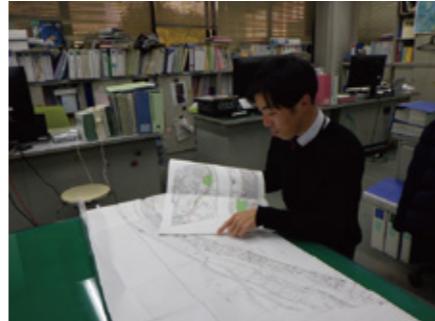
下水道を道路に埋設するための道路占用審査を担当した際、施工位置や施工方法が安全であるかを確認するため、申請担当者や関係部署と何度も調整を行いました。技術的な知識が不足しており苦労しましたが、道路利用者の安全性を確保することや、**将来の維持管理まで見据えた判断**の重要性を学ぶ貴重な経験になりました。

#### 身に付くスキル

##### 長期的視野

道路は長期間たくさん的人が利用します。**現在だけでなく20年後、30年後**、地域の人が安心して利用でき、維持管理をしていく視点をもつ習慣ができます。

### 管理事務(河川)



安全な河川利用のための  
許認可を行う。

河川管理施設の維持管理や河川利用に関する許認可等を担当しています。橋などの構造物の設置からイベント設備など多岐にわたる利用内容を利用者と打合せし、条件等を整理・審査して許可書を発行します。河川利用を許可制にすることで災害発生を防止し、更なる利用の促進を図ります。



#### エピソード

利用申請の審査が重要なのはもちろんですが、申請前の打合せや内容確認も非常に重要です。この段階から審査が始まっています。この段階から審査が始まっているとすれば、**一つの案件に携わる期間は長くなります**。申請前から許可書発行まで関わった案件が完了し、工作物が利用されている場面を見た時や、自分が利用者として利用した際には大きな達成感を感じます。

#### 身に付くスキル

##### 説明力

河川に関する法律や許認可申請について知識のない方がほとんど。専門用語や難しい言葉で説明するのではなく、**わかりやすい用語**で伝えられるようになります。

### 建設業・不動産業



建設業界を良くするための  
業務を行う。

町の小さな建設業者から大企業まで、様々な業者と接点を持ち、建設業界を良くするための業務を行っています。建設業界の許認可や指導監督の業務を行ったり、政策や法律などに反映させるための生の声を聞いたり、建設業に関連する様々な事を行っています。



#### エピソード

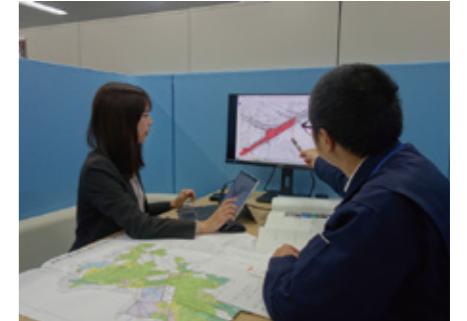
法律や関連文書に触れることが多いですが、文字を読んでもわからない事はたくさんあります。そんな時、最前線に立って業者さんと話をすると上司のお手本を見て、相談し、サポートを受けながらどう対応すべきか考えることができました。業者さんの悩みも色々ありますが、自分で聞きとり**適切なアドバイス**で審査が通った時は嬉しかったです。

#### 身に付くスキル

##### コミュニケーション力

日々、業者の方々と接点を持つことが多く、相手が何を伝えたいのかを的確に聞き取り、**自分の言葉にして相手に伝える力**は特に身についたと感じています。

### まちづくり



近畿のまちづくりを  
支援する。

都市計画とは、まちが今後どのように成長し、発展していくのかを示す「まちづくりの指針」です。まちづくりは地方公共団体が中心となって進めますが、私たちは近畿のまちづくりに関して広域的な視点から法令に基づく審査や助言をすることで、より良いまちづくりを後押ししています。



#### エピソード

都市計画は生活に密接した分野であり、公園整備や駅前再開発、鉄道の高架化(踏切の廃止)など多様な取り組みが行われています。自分が関わった事業が完成し、**まちに賑わいが生まれ、人々が笑顔になる**様子を目にして、ニュースやSNSで「便利になった」という声を聞くと、まちづくりに携わる責任とやりがいを強く感じます。

#### 身に付くスキル

##### 調整力

地域の意向を尊重したうえで、法令等による視点から対応・調整する力がつきます。また組織内外に説明する機会も多いため、要點を正確に簡潔に伝える力がつきます。